

「自立支援介護」の課題と今後 介護保険「卒業」 がもたらすもの

2018年度の介護報酬改定で、大きなテーマとなっているのが「自立支援介護」です。大阪では、事業者に対し、利用者が卒業したら「卒業加算」、総合事業のサービスに移行したら「移行加算」として事業所の収入が増える仕組みを導入している自治体があります。総合事業には、そもそもサービスの打ち切りや、要介護認定の申請さえ受け付けないことが可能な仕組みが組み込まれています。こうした施策がすすめられると必要なサービスが受けられなくなり症状が悪化してしまう人が出てくるのが危惧されます。総合事業をどう実施するかは市町村に委ねられています。大阪の事例を通じて奈良市での「自立支援介護」について考えます。

日時 **2019年1月8日(火)**
午後 6:30~8:30

会場 **奈良県文化会館 集会室A・B**

講師 **日下部 雅喜 氏**

大阪府社会保険推進協議会・介護保険対策部長

主催：奈良市社会保険推進協議会
共催：奈良県社会保険推進協議会

**参加
無料**

●介護保険改定学習会
参加申込書

FAX送付先:0744-21-3102

事業所名	氏名	職種